

2019年7月14日(日)  
スーパーフォーミュラ 第4戦 決勝  
富士スピードウェイ

決勝結果

#64 : 優勝  
#65 : 10位

決勝概要

- ・ 雨脚が強まりセーフティーカースタートになった 55 周回のレース
- ・ 8 番手スタートの牧野任祐は厳しいレースで 10 位フィニッシュ
- ・ ポールスタートのアレックス・パロウは難しいレインコンディションの中、一度もトップを譲ることなく独走でポールトゥウイン
- ・ NAKAJIMA RACING にとっては 2010 年開幕戦以来となる 9 年ぶりの優勝

コメント

総監督 : 中嶋 悟

「本当にうれしいです。パロウは昨日に続き、難しいコンディションでうまく走ってくれました。何年ぶり?というぐらい優勝が遠のいていたので、このうれしさを忘れないように近々もう 1 回味わえるようにしたいですね。牧野は残念でしたが、この後も引き続き 2 台協力して頑張っていきます。たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました」

#64 : アレックス・パロウ

「The race was tricky because we had to manage fuel consumption as we wanted to go without stopping. I had really good communication with engineers, so it was an amazing day. I would like to win again at Motegi, but every time we arrive at a new circuit, it is a different story, so we have to continue working and try to win as many races as possible till the end of this season.」

「ストップなしで行きたかったのが燃費を管理しないといけない状況でレースは油断のならないものでした。エンジニアと良いコミュニケーションが取れていたのが、素晴らしい日になりました。もてぎでも勝ちたいですが、新しいサーキットに行く時はまた別の話なので、切磋琢磨し続けて、シーズン終了まで出来るだけたくさん勝ちたいと思います」

#65 : 牧野 任祐

「レースウィークを通じて、予選が全てだったと思います。状況が予測と違っていたので、予選でもっと順位をあげていけば前からスタートでき、もっとクリアなところで走っていたと思います。次戦のもてぎも頑張ります」

※次戦は8月17日・18日にツインリンクもてぎで行なわれます。